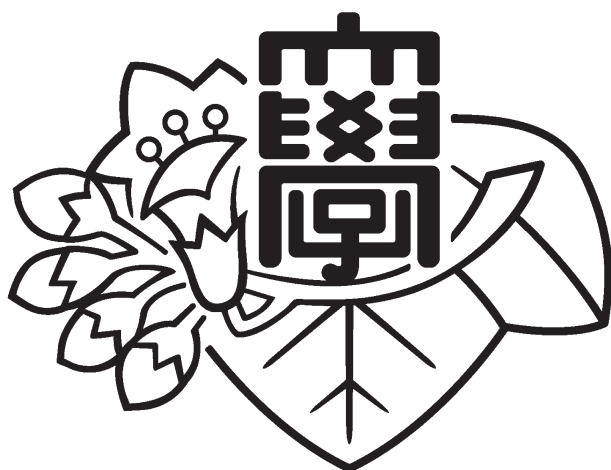


2024
令和6年度

一般選拔学生募集要項



令和5年11月
岩手大学

[入試日程はこちら](#)[インターネット出願が初めての方はこちら](#)[マイページ登録](#)[既にマイページ登録済みの方はこちら](#)[ログイン](#)

インターネット出願利用手順

Step1 学生募集要項の確認

出願手続きをはじめる前に必ずご確認ください。

[> 学生募集要項はこちら](#)

Step2 マイページ登録

インターネット出願が初めての方は「マイページ登録」ボタンからマイページ登録をしてください。

[> マイページ登録はこちら](#)

Step3 インターネット出願

「ログイン」ボタンより登録したマイページへアクセスしてください。
アクセス後、「出願手続きを行う」ボタンより必要事項を入力してください。

※初めての方は出願手続きをはじめる前に、必ず下記より事前準備を行ってください。

[> 事前準備はこちら](#)

[> ログインはこちら](#)

※出願にあたり顔写真データ（ファイル種類（jpeg,jpg,png,bmp）、最大10MBまで）が必要です。
写真は本人確認に利用します。
出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なし、のカラー写真データをご用意下さい。

Step4 入学検定料のお支払い ※ 検定料の免除申請をする方は不要です。

コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。入学検定料の支払いには支払方法に関わらず、入学検定料の他に手数料が必要となります。

[> 支払方法はこちら](#)

※入学検定料のお支払い前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度Step 2から登録をやり直してください。支払期限までに入学検定料が支払われなかった場合、出願登録は無効となります。

Step5 必要書類の印刷

登録したマイページにログインをして、「入学志願票」等をA4用紙に片面カラー印刷してください。
※入学検定料の支払い後に印刷可能となります。

[> ログインはこちら](#)

Step6 必要書類の郵送

印刷した「入学志願票」等と他の必要書類（証明書等）を合わせて受付期限までに届くよう「書留・速達」にて郵送してください。

出願書類の受理

※出願書類に不備等があった方にのみ問い合わせを行いますので、対応をお願いします。

Step7 受験票の印刷

受験票は、出願期間終了から1週間程度でインターネット出願サイトで印刷できるようになります。印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスに、そのことをお知らせするメールをお届けしますので、**A4用紙にカラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみ等で切り、試験当日に持参してください。**

なお、受験票が印刷できない、又は印字内容に不備があった場合は、試験日の1週間前までに岩手大学学務部入試課（019-621-6064）までご連絡ください。

[> ログインはこちら](#)

目 次

I	岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	各学部に共通する事項	
	○令和6年度岩手大学一般選抜日程	15
	○入学試験の実施方式	16
	○国公立大学を複数受験する場合の取り扱い及び学内併願	16
1	募集人員	17
2	入学者選抜方法	18
3	出願資格	18
4	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認について	19
5	障がい等を有する入学志願者との事前相談	22
6	個別の出願資格審査	24
7	出願手続	25
8	検定料免除	29
9	試験場	31
10	受験上の注意	34
11	不正行為	35
12	合格者の発表	36
13	入学手続等の概要	36
14	追加合格	37
15	入試情報の提供	38
16	長期履修制度	40
17	個人情報の取り扱い	40
18	入試過去問題活用宣言について	40
III	学部別の事項	
1	人文社会科学部	42
2	教育学部	45
3	理工学部	51
4	農学部	55
IV	学生寮入寮案内	59
	（入寮申請は受験前に行う必要があります。）	

I 岩手大学入学者受入の方針 (アドミッション・ポリシー)

1 岩手大学入学者受入の方針

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

2 学部別入学者受入の方針

人文社会科学部

1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

(4) 主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
 - ・英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
 - ・地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
 - ・数学：数学の基本的な概念を理解し、論理的に思考する力
 - ・理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
 - ・高校生活全般：他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力
- ※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(4) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について、法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉強や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲	主体性・ 協働性
大学入学 共通テスト	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		○
	一般（後期）		○		○
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
面接	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○		○
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

教育学部（学校教育教員養成課程）

1 学部概要

教育学部は、教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・理解・技能

- ・ 幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人
- ・ 多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人
- ・ 豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人
- ・ 生涯学び続ける態度を有する人

(4) 主体性・協働性

- ・ 様々な課題に対し主体的に取り組むとともに、周囲の人々と協働して解決しようとする姿勢を有する人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

教育学部では、地域の要請に応えるために複数免許取得を卒業要件として義務付けていることから、できるだけ幅広い教科・科目について基礎的な内容を修得していることが望まれます。さらに得意な分野等については、より学習を深め、科目全般についての学習内容を理解し確かな知識・技能を修得していることが望まれます。また入学後の学習に必要とされる基本的な読解力と文章構成力を身につけていることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

小学校教育コース・中学校教育コース（国語・社会・英語）・理数教育コース・特別支援教育コースでは、大学入学共通テスト及び個別学力検査によって「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）では、大学入学共通テスト及び実技検査によって「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「技能」「関心・意欲・態度」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）の個人面接では「関心・意欲・態度」を中心に評価します。また、志願者評価書は「主体性・協働性」を有しているかを、運動歴調査書は、運動技能を保有しているかを評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小学校教育コース・中学校教育コース（英語）・理数教育コース・特別支援教育コースの小論文では「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。中学校教育コース（美術・保健体育）の実技検査では「技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。小学校教育コース・中学校教育コース（美術・保健体育）・理数教育コース・特別支援教育コースの個人面接では「関心・意欲・態度」を中心に、中学校教育コース（英語）の個人面接では「関心・意欲・態度」「技能（英語の運用能力）」を中心にそれぞれ評価します。出願理由は「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を中心に、調査書・推薦書は「知識・理解」「主体性・協働性」を中心に、面接で判定を行う際の資料として活用します。

【小学校教育コース】

1 コース概要

小学校教育コースは、人間の成長過程で重要な位置を占める小学校段階の教育を主として担う教員の養成を

目的としています。本コースでは、小学校教育に関わる教科指導と生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力に加え、小学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

小学校教育コースにおいては、幅広い教科についての基礎学力が必要とされ、広い学びと深い学びを両立できる意欲と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【中学校教育コース】

1 コース概要

中学校教育コースは、特定の教科に関する専門性を備え、生徒の発達に応じて適切に指導できる中学校段階の教育を主として担う教員の養成を目的としています。本コースでは、教科に関する専門的な学力とともに、生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力を有し、中学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

中学校教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に専門とする教科についての深い関心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【理数教育コース】

1 コース概要

理数教育コースは、子どもたちに理科・数学に関する確かな学力を身に付けさせ、学ぶことの大切さを伝えるとともに、子どもたちの科学的な思考力や創造性を育成する理数教育の担い手として、小学校における理科・算数の教科リーダーとなる教員、また中学校における高い専門性を備えた理科・数学の教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

理数教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に自然科学・数学分野における旺盛な探究心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【特別支援教育コース】

1 コース概要

特別支援教育コースは、特別支援学校、特別支援学級、小学校・中学校等の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもに対して、主体的取り組みを支援する観点から教育的ニーズを把握し、適確に指導・支援できる教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

特別支援教育コースにおいては、特別支援教育の基礎として前述の「小学校教育コース」または「中学校教育コース」と同等の能力を有していることが望まれます。加えて、特別支援教育への熱意、多様な子ども一人ひとりに寄り添うことができる感性を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期） 学校推薦型	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を有しているかを評価する。
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。 学校推薦型選抜の中学校教育コース（英語）ではこれらに加えて「技能（英語の運用能力）」を評価する。
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型・美術 学校推薦型・保健体育	教職を目指す者としてふさわしい「技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
志願者評価書	一般（前期）	高校時代の学業や課外活動の記録を通じて教職を目指す者としてふさわしい「主体性・協働性」を有しているかを評価する。
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 学校推薦型・保健体育	競技成績等の運動歴を通じて保健体育科教師としてふさわしい運動技能を保有しているかを評価する。
出願理由書	学校推薦型	「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
調査書	学校推薦型	「知識・理解」「主体性・協働性」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
推薦書	学校推薦型	「知識・理解」「主体性・協働性」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・理解	技能	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・ 態度	主体性・ 協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期） 一般（後期）	○		○		
個別学力検査 〈教科〉	一般（前期）	○		○		
小論文	一般（後期） 学校推薦型	○		○	○	○
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育	○		○	○	
	学校推薦型	○	○（*）	○	○	
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型・美術 学校推薦型・保健体育		○	○	○	
志願者評価書	一般（前期）					○
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 学校推薦型・保健体育		○			
出願理由書	学校推薦型			○	○	
調査書	学校推薦型	○				○

（*）中学校教育コース（英語）では「技能（英語の運用能力）」を評価する。

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

理工学部

1 学部概要 ※各学科・コース・プログラム分は後述

理工学部は、理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し、グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者、次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通部分》 ※各学科・コース・プログラム分は後述

(1) 関心・意欲

- ・ 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人

(2) 知識・技能

- ・ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を修得しているとともに、理工学および工学分野の学修に必要な基礎的知識及び技能を持ち、さらにそれらの能力を総合的に応用展開できる人

(3) 思考力・判断力

- ・ 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とのコミュニケーションが円滑にとれ、相手に伝えたいことを適切に表現できる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 多様な経験をもとに協働して学び、創造性豊かで主体的に行動できる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース・プログラム毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース・プログラム毎に後述

【化学・生命理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

化学・生命理工学科では、化学、生命に関連する各科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し、国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者、教育者の育成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 化学・生命理工学の学修に必要な基礎学力
- ・ 化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
- ・ 化学・生命分野における課題を探究し、解決したいという積極性

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<化学コース>

<生命コース>

【物理・材料理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

物理・材料理工学科では、数理科学、物理科学、物質科学、材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と、関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者、研究者、教育者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 高校教育の中で、数学、物理、化学、英語などを十分に学習し、本学科の学修に必要な基礎学力
- ・ 数理科学、物理科学、物質科学、材料工学に強い関心を持ち、環境との調和に留意しつつ、これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
- ・ 強い勉学意欲と、新しい課題に挑戦する積極性

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<数理・物理コース>

<マテリアルコース>

【システム創成工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

システム創成工学科では、電気電子通信、知能・メディア情報、機械科学、社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探究し、解決するために必要な専門的能力を有し、地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ システム創成工学を学ぶに相応しい数学、物理、化学、英語などの基礎学力
- ・ 電気電子通信、知能・メディア情報、機械科学、社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち、豊かな発想力と論理的な思考力を有し、自ら積極的に勉強しようとする意欲
- ・ システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<電気電子通信コース>

<知能・メディア情報コース>

<機械科学コース>

<社会基盤・環境コース>

【特別プログラム（3プログラム）】

理工学部には、次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は、所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え、それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。
 ※各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<先端理工学特別プログラム>

〔全学科対象〕

<地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉>

〔システム創成工学科の電気電子通信コース，知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕

<地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉>

〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕

（各コース共通）

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目<各コース・各プログラムで共通>

（1）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接	総合型Ⅱ 編入学試験	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由について面接を行い、提出書類に関する確認を行う場合もあります。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等を評価します。
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型Ⅰ	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由や当該専門分野に関する一般的知識について面接を行います。高校の基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
プレゼン テーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	各プログラムにおいて出された課題に対する関心・意欲，知識・技能，思考力・判断力，表現力・コミュニケーション能力，主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
主体性・協働性に 関する自己評価	一般（前期） 一般（後期）	大学入学以前の学習や課外活動，ボランティア活動などを通じて，主体性や協働性がどのように培われてきたか，またそれを活かしてどのような大学生活を送りたいかなどの意志を示す文章を記載してもらい，主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
出願理由書・ 志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望するコースやプログラムへの出願・志望理由について自筆で作成してください。志望理由が，各コース・各プログラムの入学者受入の方針に合致しているかを総合的に評価します。
推薦書・ 自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	推薦書については，文字数は任意です。自己推薦書については，自筆で作成してください。各プログラムで学修する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	高等学校での学力および生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）について総合的に評価します。各プログラムにおいては，資格・検定試験の成績等のほか，プロジェクト活動やボランティア活動の実績，海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもありますので詳細に記載してください。
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)	基礎学力を確認するために，成績証明書と調査書を用い，高等専門学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を併せて総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目[入学者選抜方法と求める学生像の関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲	知識・技能	思考力・判断力	表現力・コミュニケーション能力	主体性・創造性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ		○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験		○	○		
個別学力検査 <主体性・協働性に 関する自己評価>	一般（前期） 一般（後期）					○
個人面接	総合型Ⅱ 編入学試験	○			○	
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型	○	○	○	○	○
	総合型Ⅰ	○	○	○	○	
プレゼン テーション	総合型Ⅰ	○		○	○	○
	総合型Ⅱ	○	○	○	○	○
出願/志望理由書・ (自己)推薦書	学校推薦型					
	総合型Ⅱ	○			○	
	総合型Ⅰ	○				○
	私費外国人留学生	○			○	○
日本留学試験	私費外国人留学生		○	○		
調査書	学校推薦型					
	総合型Ⅰ	○	○			○
	総合型Ⅱ					
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)		○	○		○

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学分野の自然科学、生命科学、社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 生命の尊さを知り、食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学希望理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【植物生命科学科】

1 学科概要

植物生命科学科では、植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに、農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力のある人

【応用生物化学科】

1 学科概要

応用生物化学科では、生命の現象、食品素材の特性、生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに、それらに関連する実験技術を修得します。これらをもとに、微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物圏での物質の動きの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 微生物や酵素の高度利用について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を修得する意欲のある人

【森林科学科】

1 学科概要

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これらをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲のある人
- ・ 森里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲のある人
- ・ 再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲のある人

【食料生産環境学科】

1 学科概要

食料生産環境学科では、農業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農村の生態系、文化・景観の保全や災害に強い地域づくり、食を取り巻く環境の急速なグローバル化および農業就業人口の減少や高齢化に対応する食料生産技術の高度化、農産物の保存・加工・流通、6次産業化、農業経営の高度化、さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖、加工技術の改良と開発、グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

<農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産基盤の整備と農村環境の保全，地域振興に関して学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食料生産技術，農産物の保存・加工・流通，6次産業化，および農業経営に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 農村地域の持続的発展のために，地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全，および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ 食料生産環境の科学的な解明，農作業の快適化と効率化，農産物の高付加価値化と持続可能な流通システムの構築，農業廃棄物の有効利用に関する理論と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバル化に対応した農業経営の高度化，グリーンツーリズムや観光を含めた農業の6次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲のある人

<水産システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 水産資源の管理・生産，その利活用，流通・販売に関する自然科学・社会科学の広い学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち，東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち，真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

【動物科学科】

1 学科概要

動物科学科では，産業動物，実験動物，野生動物，展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に，広く生命科学の基礎知識を学習するとともに，関連した実験技術を修得します。これらをもとに，人と動物が共生する地域社会の創造や動物関連産業の発展，生命科学の発展に貢献できる国際的視野を持った人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物科学への強い関心を有し，課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から，動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

【共同獣医学科】

1 学科概要

共同獣医学科は，獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき，高度獣医療の提供，人類の健康と食の安全，生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人
- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3 地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち、産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	学校推薦型	文章を客観的に読解把握する力、内容に対する自らの考え方を述べる力、農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて共同獣医学科が行う総合型Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。
大学入学希望理由書	一般（前期）	個別試験会場にて入学を希望する理由を本人が記入し、大学で農学を学ぶ意欲について評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

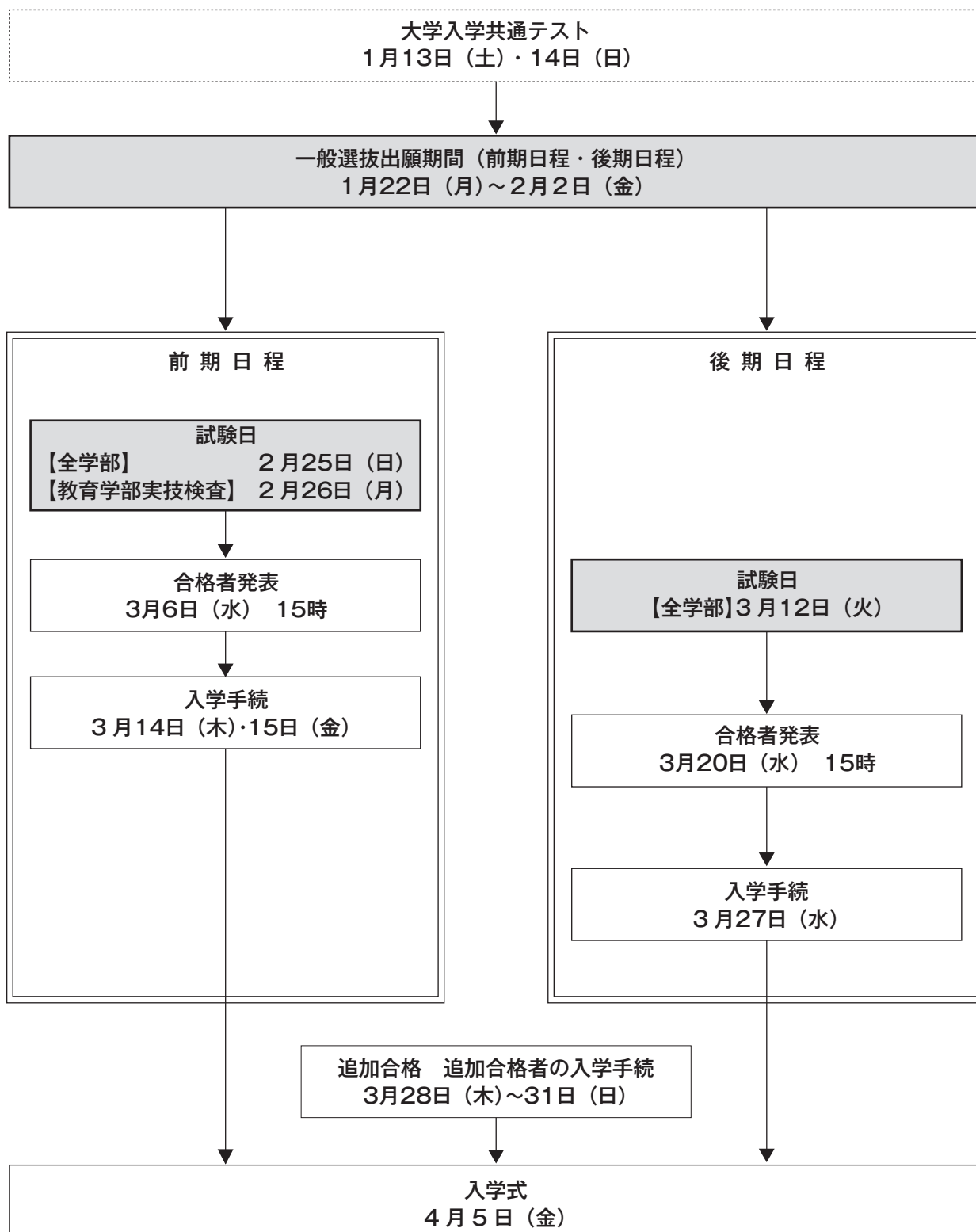
入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・態度	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 私費外国人留学生 総合型Ⅱ		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		
大学入学希望理由書	一般（前期）			○	○

*一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

なお、森林科学科、共同獣医学科が行う総合型選抜Ⅱで第1段階選抜を行う場合は、出願理由書、調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。

Ⅱ 各学部に通ずる事項

令和6年度岩手大学一般選抜日程



○入学試験の実施方式

全学部とも分離・分割方式（前期日程・後期日程）で実施します。

○国公立大学を複数受験する場合の 取り扱い及び学内併願

1 他大学との併願

志願者は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前－後」の併願は認められますが、「前－前」、「後－後」の併願は認められませんので注意してください。

2 学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した場合

本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下「他の国公立大学」といいます。）の学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照

3 前期日程に合格した場合

本学及び他の国公立大学の前期日程試験に合格し、令和6年3月15日（金）（各大学の定める入学手続期日）までに入学手続を行った者は、本学の後期日程の試験を受験しても合格者とはなりません。

4 本学の学内併願

本学の志願者は、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの学部〔学科・課程（コース）〕又は同一の学部〔学科・課程（コース）〕に併願することができます。

なお、併願を希望する者は、それぞれに出願書類等（検定料を含みます。）を提出しなければなりません。

1 募 集 人 員

学部	学 科 ・ 課 程 等		入学定員	募 集 人 員					備 考		
				一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜			私費外国留学生選抜	
				前期日程	後期日程		I	II			
人文社会科学学部	人 間 文 化 課 程		125	63	22	40	/	/	若干名		
	地 域 政 策 課 程		75	43	12	20	/	/	若干名		
	計		200	106	34	60	/	/	若干名		
教育学部	学校教育 教員養成 課程	小 学 校 教 育 コ ー ス	88	48	15	25	/	/	/	※1 数学サブコース 及び理科サブ コースの学校推薦型 選抜の入学者は、 「小学校教育専 修」に所属する こととなります。	
		中 学 校 教 育 コ ー ス	国 語 サ ブ コ ー ス	29	5	/	/	/	/		/
			社 会 サ ブ コ ー ス		5	/	/	/	/		
			英 語 サ ブ コ ー ス		5	/	3	/	/		
			音 楽 サ ブ コ ー ス		3	/	/	/	/		
			美 術 サ ブ コ ー ス		2	/	1	/	/		
		理 数 教 育 コ ー ス	数 学 サ ブ コ ー ス	32	12	/	※1	5	/		/
	理 科 サ ブ コ ー ス		10		/	※1	5	/	/		
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	11	5	2	4	/	/	/		
	計		160	98	17	45	/	/	/		
理工学部	化学・生命理工学科	化 学 コ ー ス	90	38	12	10	/	5	若干名	総合型選抜Ⅰは地 域創生特別プロ グラムの募集人員 で、総合型選抜Ⅱ は先端理工学特別 プログラムの募集 人員となります。	
		生 命 コ ー ス		17	5	3	/	/	若干名		
	物理・材料理工学科	数 理 ・ 物 理 コ ー ス	80	22	4	4	/	5	若干名		
		マ テ リ ア ル コ ー ス		29	9	7	/	/	若干名		
	システム創成工学科	電 気 電 子 通 信 コ ー ス	270	38	12	10	/	5	若干名		
		知 能 ・ メ デ ィ ア 情 報 コ ー ス		35	12	8	/		若干名		
		機 械 科 学 コ ー ス		50	15	15	/	5	若干名		
	社 会 基 盤 ・ 環 境 コ ー ス		35	5	20	5	/	若干名			
計		440	264	74	77	10	15	若干名			
農学部	植 物 生 命 科 学 科		40	26	4	5	/	5	若干名	共同獣医学科の修 業年限は、6年 です。 ※2 (総合型選抜Ⅱ 募集人員内訳) 一般枠 8 地域枠 2	
	応 用 生 物 化 学 科		40	32	3	3	/	2	若干名		
	森 林 科 学 科		30	16	3	6	/	5	若干名		
	食料生産環境学科	農 村 地 域 デ ザ イ ン 学 コ ー ス	60	26	4	6	/	4	若干名		
		食 産 業 シ ス テ ム 学 コ ー ス		10	3	5	/	2	若干名		
	水 産 シ ス テ ム 学 コ ー ス										
	動 物 科 学 科		30	20	3	7	/	/	若干名		
共 同 獣 医 学 科		30	20	/	/	/	※2	10	若干名		
計		230	150	20	32	/	28	若干名			
合 計			1,030	618	145	214	10	43	若干名		

・教育学部の入学定員は学校教育教員養成課程160名ですが、入学定員欄にはコース毎の募集人員計を表示しています。
 ・総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員補充は一般選抜で行います。

2 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、本学が実施する個別学力検査、実技検査、小論文等、(以下「個別学力検査等」という。)及び調査書を総合して判定します。

※全学部とも、2段階選抜は実施しません。

※大規模災害等、予期せぬ事態が発生した場合、選抜方法を変更することがあります。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、「令和6年度大学入学者選抜大学入学共通テスト」で本学の指定する教科・科目のすべてを受験した者

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。)を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月に修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者(次のいずれかに該当する者)
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限ります。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和6年3月31日までに合格見込みの者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含みます。)で、令和6年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者
- 注) (3)の⑥の資格で出願しようとする者は、24ページの「6 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認について

一般選抜に出願することができる者は、「令和6年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、各学部（学科・課程等）が指定した下記の教科・科目を受験した者に限ります。指定した教科・科目を1科目でも受験しなかった場合には、出願できません。受験を要する教科・科目は、志願する学部（学科・課程等）により異なっていますので十分に注意してください。

出願に当たっては、志願者自身が以下の確認表を利用して、志願する学部（学科・課程等）の受験科目をチェックし、出願資格を満たしていることを必ず確認してから、出願するようにしてください。

◎大学入学共通テストの受験を要する教科・科目確認表

人文社会科学部【前期日程】

[5教科6科目又は6教科6科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
地歴・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理Bから1科目 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	から1科目 又は2科目 から3科目 (注1 21ページ参照)
数学	数学I, 「数学I・数学A」から1科目 数学II, 「数学II・数学B」, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目	
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	から1科目 (注2 21ページ参照)
外国語	英語(リスニングテストを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目	

人文社会科学部【後期日程】

[3教科3科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
地歴・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	から1科目 (注1 21ページ参照) (注2 21ページ参照)
数学	数学I, 「数学I・数学A」 数学II, 「数学II・数学B」, 簿記・会計, 情報関係基礎	
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	
外国語	英語(リスニングテストを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目	

教育学部 学校教育教員養成課程（小学校教育コース，中学校教育コース※，特別支援教育コース）

※中学校教育コースは前期日程のみ

[5教科7科目又は6教科7科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
数学	「数学Ⅰ・数学A」	
	「数学Ⅱ・数学B」，簿記・会計，情報関係基礎から1科目（注1 21ページ参照）	
地歴・公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B， 地理A，地理Bから1科目 現代社会，倫理，政治・経済， 「倫理，政治・経済」から1科目	｝から1科目 又は2科目 ｝から3科目
	理科	
外国語	英語（リスニングテストを含む），ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目	

教育学部 学校教育教員養成課程（理数教育コース※）

※理数教育コースは前期日程のみ

[5教科7科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
数学	「数学Ⅰ・数学A」	
	「数学Ⅱ・数学B」，簿記・会計，情報関係基礎から1科目（注1 21ページ参照）	
地歴・公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B， 地理A，地理B 現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」	｝から1科目
理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎 物理，化学，生物，地学	｝から2科目 （注2 21ページ参照）
外国語	英語（リスニングテストを含む），ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1科目	

理工学部

[5教科7科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
地歴・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目 (注1)	
理科	物理, 化学, 生物から2科目	
外国語	英語 (リスニングテストを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目	

農学部 (植物生命科学科, 応用生物化学科, 森林科学科, 食料生産環境学科, 動物科学科)

[5教科7科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
地歴・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目
数学	数学Ⅰ, 「数学Ⅰ・数学A」 から1科目 数学Ⅱ, 「数学Ⅱ・数学B」, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目 (注1)	
理科	物理, 化学, 生物, 地学から2科目	
外国語	英語 (リスニングテストを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目	

農学部 (共同獣医学科) ※前期日程のみ

[5教科7科目]

教科	科目	確認欄
国語	国語	
地歴・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」	} から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目 (注1)	
理科	物理, 化学, 生物から2科目	
外国語	英語 (リスニングテストを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目	

(注1)「数学」において、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。

(注2)「理科」において、基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)については、2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。

5 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和6年1月11日（木）までに、「事前相談について」（所定様式）を提出してください。提出の際は本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html>）からダウンロード、もしくは次ページ掲載の様式をご利用ください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

また、上記期限後に不慮の事故等により、受験上の特別な配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名
 (志願者との関係)
 住 所
 電話番号 - -

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名等

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 -	電話	- -
出身学校名		電話	- -

2 志望学部等名

学部・学科等	学部		学科 課程		コース	
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型	私費外国人	前期日程	後期日程

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7 日常生活の状況

8 添付書類

- (1) 健康診断書
- (2) その他

- 注1 出身学校関係者等が記入してください。
- 注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。
- 注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記載しても構いません。
- 注4 健康診断書等の書類は、写しで構いませんので、必ず添付してください。
- 注5 ※欄には記入しないでください。

※大学記入欄

6 個別の出願資格審査

本学に「3 出願資格」(3)⑥の資格で出願しようとする者については、次のとおり出願資格審査を行います。

(1) 出願資格審査の対象者

- ① 高等学校に相当する、外国人を対象に教育を行うことを目的とした教育施設を卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者
- ② 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

(2) 申請期間及び申請方法

出願資格の認定を受けようとする者は、令和6年1月16日(火)までに申請書類を取りそろえて申請してください。なお、郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「大学出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

(3) 申請書類等

- ① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）

イ 当該教育施設の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

ウ 当該教育施設の成績証明書又は調査書（厳封したもの）

エ 当該教育施設の学則（規則）等

オ 当該教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）

カ 返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して824円分（速達書留料金）の切手を貼ってください。）

- ② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）

イ 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

ウ 返信用封筒（長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して824円分（速達書留料金）の切手を貼ってください。）

- ※ 「出願資格認定申請書用紙」は、岩手大学学務部入試課（(9)参照）まで請求してください。

また、本学ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/requirements.html>

- ※ 必要に応じて、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

(4) 審査の方法及び審査期間

審査は、提出された申請書類により行います。

なお、審査は原則として令和6年1月19日（金）までに行います。

(5) 審査機関

岩手大学入試委員会の審査を経て、岩手大学長が認定します。

(6) 審査基準

- ① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

申請者の当該教育施設の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。その結果、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ申請者が必要単位を修得（修得見込み）している場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

- ② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。その結果、学習歴等について高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

(7) 審査結果の通知

審査の結果、出願資格を認められた者については、令和6年1月22日（月）までに申請者あてに「岩手大学出願資格認定書」を送付します。

なお、出願資格を認められなかった者については、理由を付して結果を送付します。

(8) 岩手大学入学者選抜試験の受験について

「岩手大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。

(9) 送付先及び問い合わせ先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

7 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願での受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step1	事前準備	出願手続を始める前に、26ページの「(5)事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
Step2	出願登録	本学ウェブサイトからインターネット出願サイトにアクセスし、必要な情報を入力してください。 (https://e-apply.jp/ds/iwate-u/)
Step3	入学検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step4	必要書類の印刷 (詳細は27ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷し、入学志願票に大学入学共通テスト成績請求票を貼付してください。
Step5	必要書類の送付	インターネット出願サイト等から印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう郵送してください。
Step6	受験票の印刷 (詳細は28ページ)	出願が受理された方は、出願期間終了から1週間程度でインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願受付期間

試験区分	インターネット出願登録 及び入学検定料支払期間	出願書類受付期間
一般選抜 (前期日程・後期日程)	令和6年1月19日(金)9時 ～令和6年2月2日(金)正午	令和6年1月22日(月) ～令和6年2月2日(金)17時《必着》

【注意】インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは2月2日(金)正午まで可能ですが、出願書類は2月2日(金)17時必着です。期限までに書類が本学に届かない場合は受理できませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 出願書類提出方法・提出先

インターネット出願サイトから印刷した「出願書類提出用封筒宛名シート」を貼り付けた角形2号封筒に、必ず必要書類を漏れなく封入したことを確認し、出願者チェック欄にチェックしてから、「速達書留」で郵送してください。**持参による提出は認めません。**

なお、学校において一括して提出(郵送)する場合は、志願者ごとに封筒に入れて厳封し、志願者名簿(様式は問いません。)を添付の上、表に「一般選抜出願書類等在中」と朱書きした別封筒にて「速達書留」で提出(郵送)してください。

【提出先】岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

(4) 入学検定料について(登録番号T6400005002202 国立大学法人岩手大学)

入学検定料は17,000円(非課税)です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

【検定料の返還について】

すでに払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ①検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を出願受付期間内に提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合)
- ②出願受付後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合(本学が定める金額を返還します)

なお、返還希望の申し出期限は令和6年2月末日までとします。

返還希望申出窓口：岩手大学法人運営部経理課経理グループ TEL：019-621-6031

(5) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願には次のWebブラウザをご使用ください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能が必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるよう設定を追加してください。</p> <p style="text-align: center;">@e-apply.jp</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール </div> <p>※受験票を印刷するまでは、メールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人写真（データ）の用意	<p>出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル種類（jpeg,jpg,png,bmp）.最大10MBまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。以下の「使用できない写真の例」に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので、注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の用意	<p>高校等が発行する「調査書」、大学入学共通テスト受験票の下欄に付属の「令和6共通テスト成績請求票」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。</p> <p style="text-align: right;">(27ページ参照)</p> <p>※個別の出願資格審査により認定され、出願する者は「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。</p> <p>※検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書及び必要な書類を添えて提出してください。(29ページ参照)</p>
角形2号封筒の用意	<p>必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。前期日程・後期日程ともに本学へ出願する場合は、それぞれにつき1枚ずつ用意してください。</p>
様式印刷の用意（プリンタ、用紙等）	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙に片面カラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）</p>

(6) 出願書類等

出願に必要な書類はこの表で確認してください。

表中の「○」印の書類はインターネット出願サイトから印刷する書類, 「●」印の書類は, 本学ウェブサイトの「入試情報」→「学部入試」よりダウンロードして作成する書類です。

(<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html>)

出願に必要な書類等	摘 要
<p>○①入学志願票, 写真票 (全員提出)</p>	<p>インターネット出願サイトからA4サイズで片面カラー印刷してください。 入学志願票の共通テスト成績請求票の貼付欄には「令和6共通テスト成績請求票」を必ず貼付してください。成績請求票の再発行手続きをした場合は当初発行の成績請求票は無効となりますので必ず再発行を受けた成績請求票を貼ってください。成績請求票は, 国公立前期日程用と後期日程用がありますので, 貼り間違えないよう注意してください。</p>
<p>②調査書 (全員提出)</p>	<p>出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成し, 出身学校において厳封したものを提出してください。 次の各号のいずれかに該当する者は, 以下に掲げる書類をもって調査書に代えることができます。 ただし, 成績関係の証明書は, すべて発行者において厳封したものでなければなりません。</p> <p>ア) 高等専門学校第3学年修了者(見込みを含む。)及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者(見込みを含む。) ・・・出身学校が文部科学省の定めた様式に準じて作成したもの</p> <p>イ) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(見込みを含む。) 又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの, 国際バカロレア資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者 ・・・当該試験等の成績証明書及び卒業(修了)証明書</p> <p>ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格取得者 ・・・一般的大学入学資格証明書及び成績評価証明書(写)</p> <p>エ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者 ・・・バカロレア資格証書(写)及びバカロレア資格試験成績証明書</p> <p>オ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCE・Aレベル(General Certificate of Education, Advanced Level)資格取得者 ・・・GCE・Aレベル 3科目の成績評価証明書, 成績評価はE以上のものに限ります。</p> <p>カ) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む。以下同じ)合格者 ・・・当該試験等の合格証明書及び合格成績証明書 なお, 一部の科目を高等学校等で修得している者は, 合格証明書と合格成績証明書に加え, 在学期間中の調査書又は成績証明書も提出してください。</p> <p>キ) 指導要録の保存期間終了, 廃校, 被災, その他の理由によって調査書が提出できない者 ・・・卒業証明書と成績証明書又は単位修得証明書等 なお, 成績証明書又は単位修得証明書等を提出できない場合は, 出身高等学校等を所管する教育委員会, 知事もしくは出身高等学校長が作成した「証明書が発行できない旨の文書」を提出してください。</p>
<p>●③志願者評価書 教育学部(前期日程) (該当者のみ提出)</p>	<p>教育学部(前期日程)に出願する者は, 本学ウェブサイトより様式をダウンロードの上, 志願者本人が必要事項を記入し, 提出してください。</p>

<p>●④実技選択票 中学校教育コース 音楽サブコース 美術サブコース (該当者のみ提出)</p>	<p>教育学部中学校教育コース音楽サブコース及び美術サブコースを志望する者(第2志望とする者を含みます。)は、本学ウェブサイトより様式をダウンロードの上、志願者本人が必要事項を記入し、提出してください。なお、教育学部中学校教育コース音楽サブコースを志願する者(第2志望とする者を含みます。)は、48ページを確認の上、必要に応じて伴奏譜又は独奏譜も提出してください。</p>
<p>●⑤運動歴調査書 中学校教育コース 保健体育サブコース (該当者のみ提出)</p>	<p>教育学部中学校教育コース保健体育サブコースを志望する者(第2志望とする者を含みます。)は、本学ウェブサイトより様式をダウンロードの上、出身学校で作成したものを提出してください。 なお、高等学校卒業程度認定試験合格者及び廃校等により出身学校が作成する運動歴調査書が得られない者は、所定の用紙に志願者本人が記入し提出してください。この場合、運動種目の活動歴、成績等を証明するもの(例えば、大会プログラム・賞状の写し等)があれば添付してください。</p>
<p>⑥出願資格認定書 (該当者のみ提出)</p>	<p>個別の出願資格により認定され、出願する者は「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。(24ページ参照)</p>
<p>●⑦検定料免除申請書 (該当者のみ提出)</p>	<p>検定料免除を申請する者は、本学ウェブサイトより様式をダウンロードして作成した検定料免除申請書に必要な書類を添えて提出してください。 (29ページ参照)</p>

(7) 出願書類に関する注意事項

- ・インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期限までに支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に届くよう送付する必要があります。
- ・出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望学部、学科、課程、コース及び受験科目等の変更は認めません。また、出願書類は返還しません。
- ・出願書類に次のような不備のあるものは受理しませんので、注意してください。
 - ア 入学志願票に所定の「令和6共通テスト成績請求票」を貼っていないもの
 - イ 入力漏れ、誤入力のあるもの
 - ウ 検定料に不足のあるもの
 - エ その他、提出すべき必要な書類が添付されていないもの
- ・前期日程及び後期日程に併願する場合は、それぞれに出願書類等(検定料を含みます。)を用意し、別々に提出しなければなりません。
- ・出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(8) 受験票の印刷

受験票は、出願期間終了から1週間程度でインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りします。**A4サイズでカラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみ等で切り、試験当日に持参してください。**

なお、受験票が印刷できない、又は印字内容に不備があった場合は、**令和6年2月16日(金)**までに岩手大学学務部入試課(019-621-6064)までご連絡ください。

8 検 定 料 免 除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないよう、申請に基づき審査の結果、許可された方に対して検定料の免除措置を講じます。

東日本大震災被災者については、下記により実施します。

申請する方は、**出願書類と一緒に**、下記のとおり必要書類を提出してください。申請に基づき審査を行います。

※ 東日本大震災以外の災害で、令和5年度に発生した災害救助法適用の災害により被災した方については、別途、下記問い合わせ先までお問い合わせ願います。

(1) 検定料免除対象者

次のいずれかの要件に該当する方になります。

- ① 東日本大震災により実家が全壊の被害を受けた方
- ② 福島第一原子力発電所事故の影響で家族が実家を離れて現在も避難生活を送っている方
- ③ 主たる家計支持者が、東日本大震災により死亡（行方不明を含む）した方

(2) 申請方法

下記(3)の書類を用意し、出願書類に同封のうえ提出してください。**その際、検定料は払い込まないでください。**

※ただし、申請時に証明書類等を添付できない場合は、一旦、検定料を払い込んでください。許可された場合には指定の口座に返金いたします。

(3) 提出書類

ア) 検定料免除申請書（次ページ様式1）

イ) 被災を証明する書類（原本を提出できない場合は、写しでも可とします。）

- ・上記要件①②に該当する方：市町村長又は消防署長発行の罹災証明書等
- ・上記要件③に該当する方：学資を主として負担している者の死亡等を証明する書類

ウ) 納付金返還請求書（様式2）**※申請時に証明書類等を添付できない場合のみ。**

※様式は本学ウェブサイトからダウンロードできます。押印も忘れずをお願いいたします。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/exemption.html>

(4) 申請期限

出願受付期間と同様

(5) 審査結果の通知

許可者には、受験票のダウンロードが可能となることをもって決定通知書に代えさせていただきます。

不許可者には、別途連絡しますので、直ちに入学検定料を指定の口座に払い込んでください。

(6) その他

提出された書類等に虚偽の記載事項があった場合は、免除を取り消し、直ちに検定料を納付していただきます。

《書類提出先及び問い合わせ先》

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学学務部入試課 TEL：019-621-6064 FAX：019-621-6885

※受験番号

検定料免除申請書

年 月 日

対象入学者 選 抜	<input type="checkbox"/> 一般選抜（前期日程） <input type="checkbox"/> 総合型選抜 <input type="checkbox"/> 私費外国人留学生選抜 <input type="checkbox"/> 大学院入試	<input type="checkbox"/> 一般選抜（後期日程） <input type="checkbox"/> 学校推薦型選抜 <input type="checkbox"/> 編入学
志望学部学科等	学部 研究科	学科・課程 専攻
フリガナ 志願者氏名	(印)	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
学資を主として負担して いる者(それに準ずる者) の住所・連絡先・氏名	現在の 住所・ 連絡先	〒 TEL
	被災の 住所	〒
	フリガナ 氏 名	志願者との続柄 ()
被災状況 (該当する区分にチェック してください。)	<input type="checkbox"/> 家屋が被害を受けた。(<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊) <small>注) 東日本大震災での被災については「全壊」のみが対象。</small> <input type="checkbox"/> 学資負担者が死亡又は行方不明となった。 <input type="checkbox"/> 学資負担者が失職した。 <input type="checkbox"/> 福島第一原発事故の影響で現在も避難生活を送っている <input type="checkbox"/> その他 (具体的状況) { }	
証明書等の添付状況	<input type="checkbox"/> 証明書等を添付している <input type="checkbox"/> 証明書等は添付していない (後日提出)	
備 考	(証明書等が添付できない理由等)	

記載及び申請時の注意

1. については、該当する事項にレを付してください。
2. この申請書は、「一般選抜（前期日程）」「一般選抜（後期日程）」「学校推薦型選抜」等の対象入学者選抜ごとに提出してください。
3. 出願時に証明書等を添付できない場合は、発行後、速やかに提出してください。その場合は、一旦、検定料を払い込んだうえ、この申請書の他に、「納付金返還請求書」（本学所定用紙）を併せて提出してください。

【個人情報の取り扱いについて】

岩手大学では、個人情報の保護に関する法律等に基づき個人情報を取り扱います。
本申請書に記載された個人情報は、検定料の免除及び返還のために必要な業務にのみ利用いたします。

9 試 験 場

(1) 試験場

試験場は次のとおりです。

学 部	日 程	試 験 場
人文社会科学部	前期日程	岩手大学試験場
	後期日程	
教 育 学 部	前期日程	岩手大学試験場
	後期日程	
理 工 学 部	前期日程	岩手大学試験場及び札幌試験場
	後期日程	
農 学 部	前期日程	岩手大学試験場及び札幌試験場
	後期日程	岩手大学試験場

(2) 留意事項

- ① 札幌試験場の受験希望者は、出願時に希望試験場を選択することとなりますが、受験希望者が札幌試験場の収容人員（下記参照）を超えた場合、その超過人員は岩手大学試験場で受験することとなります。その場合は、別途志願者に通知します。

なお、札幌試験場では、出願書類を受理した順に受験者を収容します。

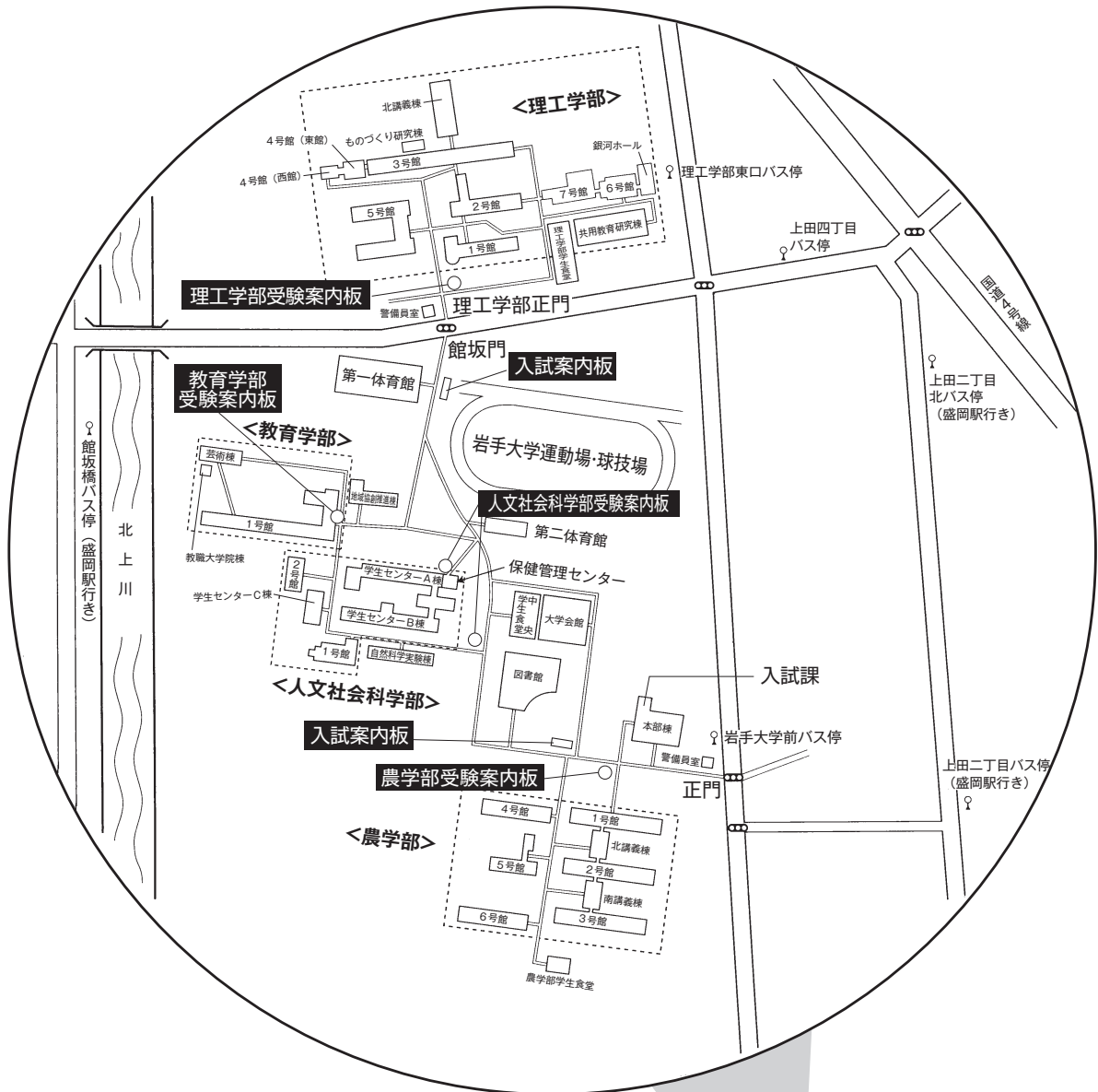
札幌試験場の収容人数

学 部	前期日程	後期日程
理 工 学 部	50名	50名
農 学 部	50名	/

- ② 指定された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- ③ 札幌試験場（TKPガーデンシティ札幌駅前（前期日程）及びTKP札幌カンファレンスセンター（後期日程））への照会・連絡は一切しないでください。
- ④ 試験当日の天候によっては交通機関の運行に支障が出る場合もあり得ますので、遠方からの受験者は、前日から近郊へ宿泊することが望ましいです。
- ⑤ 試験場には駐車場がありませんので、公共の交通機関を利用してください。

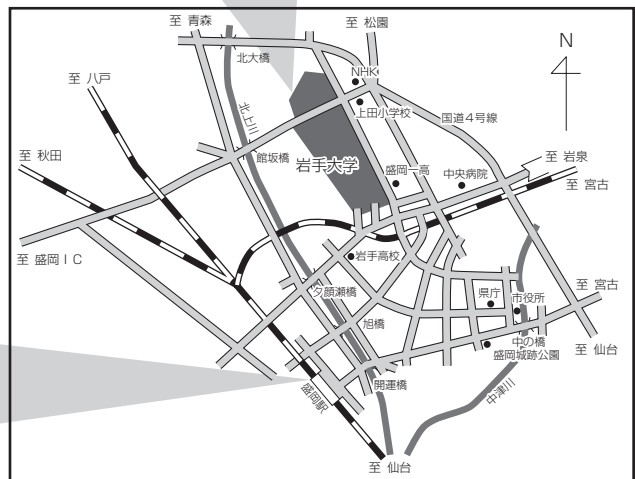
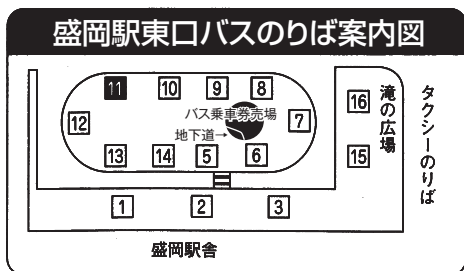
(3) 案内図

① 岩手大学試験場：岩手大学（盛岡市上田三丁目18-8）



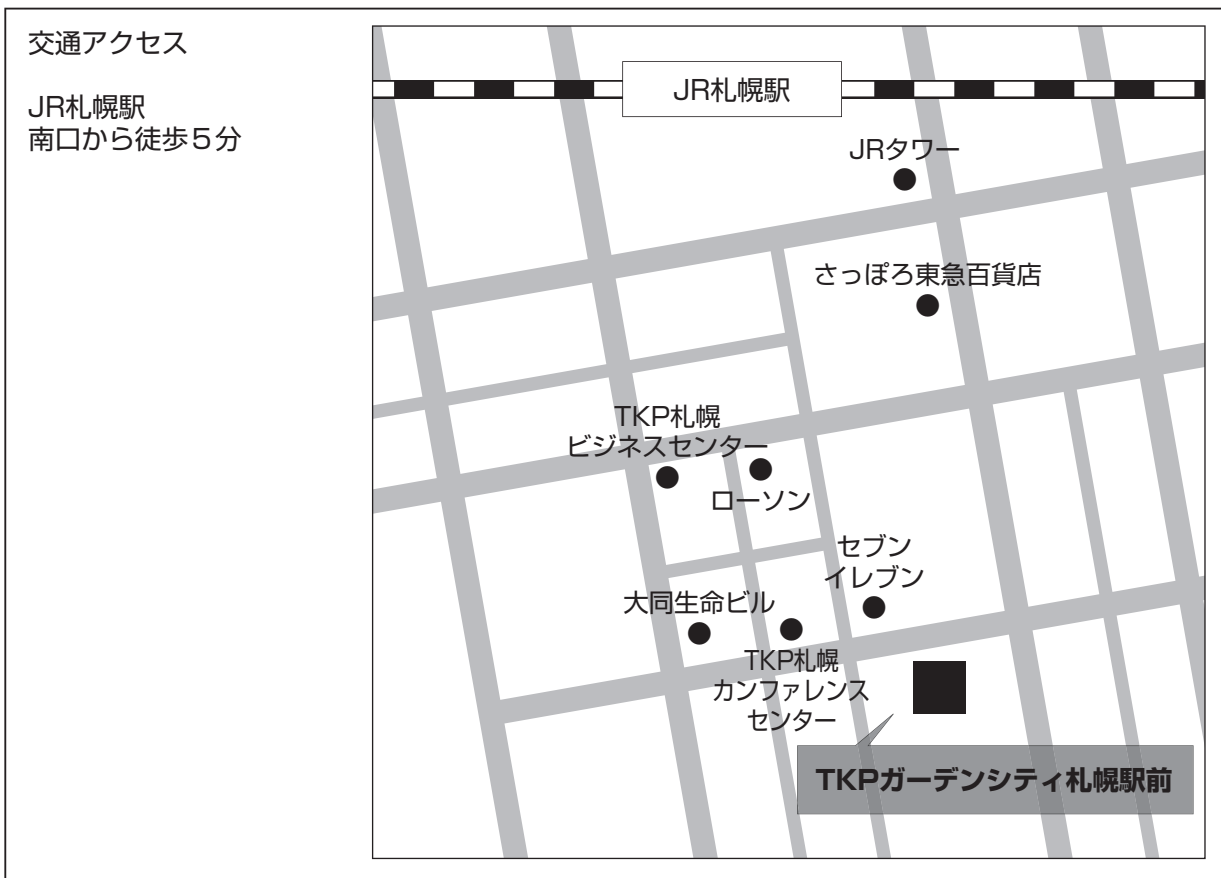
学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部 教育学部 農 学 部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「岩手大学前」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車
理 工 学 部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「上田四丁目」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「理工学部東口」下車

※ 本町・山岸・洞清水経由のバスには乗車しないでください。
 注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。
 注2) タクシー利用の場合
 盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で、料金は1,300円程度です。
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

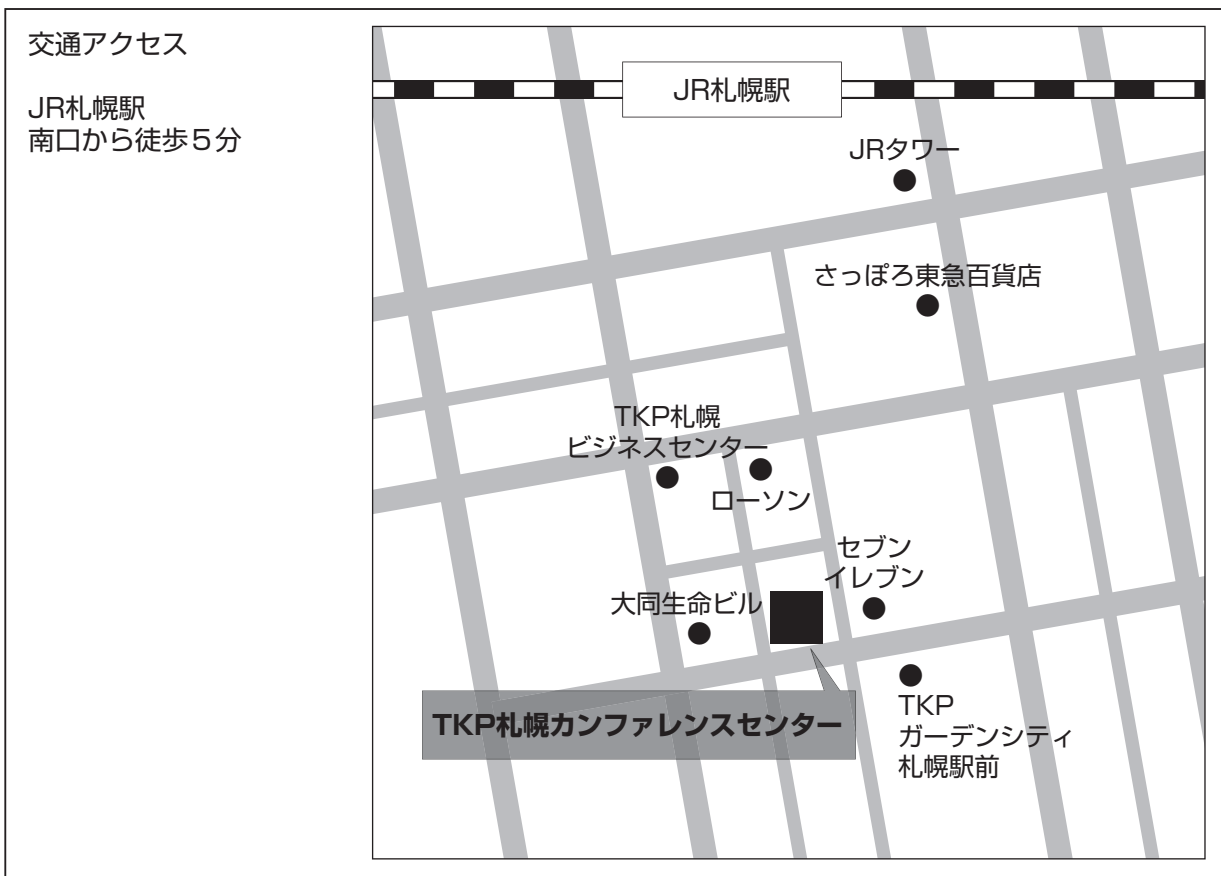


② 札幌試験場

前期日程：TKPガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区北2条西2-19）



後期日程：TKP札幌カンファレンスセンター（札幌市中央区北3条西3-1-6）



10 受験上の注意

試験当日は、下記の注意事項を守るとともに、試験場の監督者の指示に従ってください。

なお、前期日程・後期日程ごとの詳細については、インターネット出願終了後、受験当日前までに下記ウェブサイトに掲載する「令和6年度岩手大学一般選抜の留意事項等」を必ず熟読してください。

また、不測の事態（自然災害等）が発生した場合、岩手大学入学試験の実施に関する情報提供は次のウェブサイト等により行いますので、受験の前に確認してください。

岩手大学入試情報

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>

【「岩手大学トップページ」→「入試情報」】

- 1 **「令和6年度大学入学共通テスト受験票」**及び「**本学の受験票**」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。
- 2 試験場には駐車場がありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- 3 岩手大学試験場の下見は、前期日程は2月24日（土）（注：2月26日（月）の教育学部実技検査のみを受験する者は2月25日（日）でも可）、後期日程は3月11日（月）としますが、建物の中に入ることはできません。また、札幌試験場（TKPガーデンシティ札幌駅前（前期日程）及びTKP札幌カンファレンスセンター（後期日程））は、試験当日のみ借用するため、建物外観以外の下見はできません。
- 4 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- 5 受験する科目等の試験開始20分前までに、所定の試験室又は控室に集合してください。
- 6 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
- 7 昼食は各自で用意し、試験室又は控室等で食事をしてください。
- 8 マスクを着用している方は、写真照会、面接時など、試験監督等からマスクを外す指示があった際には従ってください。
- 9 個別学力検査及び小論文について
 - (1) 受験の際、机の上に置けるものは令和6年度大学入学共通テスト受験票、本学の受験票、黒の鉛筆またはシャープペンシル（黒い芯に限る）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、メガネ、ハンカチ（無地で、試験開始前に試験監督に申し出て許可を得たもの）、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。これ以外のものは、かばん等にしまって、座席の下に置いてください。また、腕時計（計時機能だけのもの）の使用は認めますが、腕時計型端末など辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいものについては、監督者の判断により、試験場本部が試験終了まで預かる場合があります。
 - (2) 定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。不正行為については、「11 不正行為」も確認してください。
 - (3) 携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーなどの音の出る機器は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また、時計のアラーム、時報、目覚まし音等の設定についても、試験開始20分前までに必ず解除しておいてください。
 - (4) 答案には必ず本学の受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
 - (5) 試験開始後は試験終了まで退室を認めません。ただし、発病等やむを得ない場合の一時退室は除きます。
 - (6) 答案提出前に離席してはいけません。受験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
 - (7) 答案は自席で提出してください。
- 10 実技検査について（教育学部のみ実施）は、48ページを確認してください。

11 不正行為

(1) 次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 入学志願票・写真票・受験票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。(本人以外の写真を使用することや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等)
- ② カンニングをすること。(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム等)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

12 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。
なお、合格通知書の氏名は、大学入試センターから送達された氏名で表記します。

日 程	合 格 発 表 の 日 時	方 法
前 期 日 程	令和6年3月6日(水) 15時	本学ウェブサイトによる発表 (ウェブサイトでの発表は 合格発表日から概ね1週間程度です) https://www.iwate-u.ac.jp/
後 期 日 程	令和6年3月20日(水) 15時	

※ 合否の問い合わせについては、一切応じません。

合格電報又は合否電話の受付を行っている者がいますが、これは岩手大学とは一切関係がありませんので注意してください。

13 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりとし、詳細については、合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

(1) 入学手続締切期日及び場所

合格者は、入学関係書類を取りそろえ、持参又は郵送により手続してください。

入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退した者として取り扱います。

日 程	入学手続締切期日	持参する場合の日時・場所	
前 期 日 程	令和6年3月15日(金)	令和6年3月14日(木)～ 令和6年3月15日(金)	岩手大学入学手続会場 10時から16時まで
後 期 日 程	令和6年3月27日(水)	令和6年3月27日(水)	岩手大学入試課(事務局1階) 10時から16時まで

※ 郵送により手続する場合、それぞれの入学手続締切期日の16時必着です。

(2) 入学関係書類

- ① 令和6年度大学入学共通テスト受験票(原本)
- ② 誓約書・個人情報等の取り扱いに関する同意書(所定の用紙)
- ③ 入学手続確認書
- ④ 学生証用カラー写真(縦4cm×横3cm)1枚
- ⑤ 入学料納入確認票
- ⑥ その他所定の書類

(3) 大学納付金(登録番号T6400005002202 国立大学法人岩手大学)

- ① 入学料 282,000円(予定額)非課税
- ② 授業料 年額535,800円〔前期分267,900円 後期分267,900円〕(予定額)非課税

注1) 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2) 授業料の納入方法については、「入学手続のしおり」でお知らせします。

なお、入学手続後の入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

15 入試情報の提供

(1) 令和5年度 岩手大学一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点

学部名	学科・課程(コース)名		前期日程				後期日程				
			配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	
人文社会科学部	人間文化課程		1,400	1,053	866	931	800	628	553	580	
	地域政策課程		1,400	1,037	824	910	800	655	484	553	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	1,300	926	675	770	1,300	936	650	730	
		中学校教育コース	国語サブコース	1,300	-	-	-				
			社会サブコース	1,300	-	-	-				
			英語サブコース	1,300	-	-	-				
			音楽サブコース	1,300	-	-	-				
			美術サブコース	1,300	-	-	-				
			保健体育サブコース	1,300	-	-	-				
		理数教育コース	数学サブコース	1,300	859	686	795				
			理科サブコース	1,300	825	654	726				
				特別支援教育コース	1,300	917	712	770	1,300	-	-
理工学部	化学・生命理工学科	化学コース	1,530	1,229	857	980	1,330	1,116	741	922	
		生命コース	1,530	1,033	890	946	1,330	1,044	784	924	
	物理・材料理工学科	数理・物理コース	1,530	1,170	684	891	1,330	1,060	976	1,008	
		マテリアルコース	1,530	1,043	680	832	1,330	984	756	867	
	システム創成工学科	電気電子通信コース	1,430	1,084	611	806	1,330	1,104	769	959	
		知能・メディア情報コース	1,730	1,356	1,005	1,140	1,330	1,045	750	927	
		機械科学コース	1,530	1,126	601	882	1,330	1,025	501	834	
		社会基盤・環境コース	1,530	1,159	527	821	1,330	1,058	823	929	
農学部	植物生命科学科		1,220	886	711	757	1,000	-	-	-	
	応用生物化学科		1,220	862	663	757	1,000	768	664	698	
	森林科学科		1,220	965	750	808	1,000	-	-	-	
	食料生産環境学科	農村地域デザイン学コース	1,220	872	660	726	1,000	-	-	-	
		食産業システム学コース	1,220	838	666	727	1,000	-	-	-	
	動物科学科		1,220	971	776	839	1,000	-	-	-	
	共同獣医学科		1,320	1,128	992	1,031					

注1) 最高点・最低点・平均点は第1志望の合格者についてのみ表しています。

注2) 「-」は第1志望の合格者が5名以下のため開示しません。

(2) 受験者に対する試験成績及び調査書の開示

本学では、受験者本人（合格・不合格の選考結果を問わず、全受験者を対象とします。）の申請により、次のとおり令和6年度入学者選抜試験に関わる試験成績及び調査書を開示します。

① 申請期間

令和6年5月1日（水）から令和6年6月28日（金）まで【必着】

② 申請方法

以下ア～エの書類を取りそろえ、a又はbのいずれかの方法により、受験者本人が申請してください。

ア 本学の受験票（原本）

イ 令和6年度大学入学共通テスト受験票（原本）

ウ 入試情報開示申請書（所定の用紙）

エ 返信用封筒（長形3号。574円分の切手（書留料金）を貼り、本人の郵便番号、住所、氏名を明記してください。）

※ 受験票は開示内容とともに返送します。

※ 入試情報開示申請書は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。（令和6年4月中旬掲載予定）

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/disclosure/result.html>

a 岩手大学学務部入試課窓口での申請

受付時間は月曜日から金曜日の9時から16時までです。（祝日は除きます。）

b 郵送による申請

「入試情報開示請求」と朱書きした封筒に、上記ア～エの書類を入れて、岩手大学学務部入試課まで「簡易書留」にて郵送してください。

③ 申請先

岩手大学学務部入試課（入試課の場所は32ページの地図で確認してください。）

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

④ 開示内容

- ・ 令和6年度大学入学共通テストの成績（本学が課した教科・科目に限ります。）、個別学力検査科目別得点、小論文及び実技検査等の得点
- ・ 出身学校長から提出のあった調査書（「総合的な探究の時間の内容・評価」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「備考」及び「出欠の記録」の欄を除きます。）

⑤ 開示方法


申請書受理後1ヶ月以内に郵送します。

(3) 出願状況等の情報提供

一般選抜（前期日程及び後期日程）の出願状況について、下記のとおり情報の提供を行います。

なお、本学への直接の問い合わせには応じません。

また、合格者の発表については、36ページを参照してください。

情報の内容	各学部学科・課程等の募集人員、志願者数及び倍率
時 期	出願受付期間の中間日、最終日及び確定版を一般選抜後期日程の合格発表日まで公表します。
方 法	① 岩手大学ウェブサイト https://www.iwate-u.ac.jp/ ② 岩手大学携帯電話サイト https://daigakuic.jp/iwate-u/ 
備 考	中間日、最終日に公表する志願者数等は、17時までに受け付けた数を、集計が完了次第公表します。

16 長期履修制度

職業を有しているなどの事情（注1）によって、修業年限である4年を超えて、一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、修業年限（4年）で卒業する学生が納める授業料総額と同額となります。なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

- 注1）該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上勤務者で6月以上の継続雇用者）
② 家事従事者又は育児にあたっている者
③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者
④ その他、本学が適当と認める者

注2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

注3）農学部共同獣医学科の学生は対象になりません。

詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）まで問い合わせてください。

17 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

18 入試過去問題活用宣言について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は、次のウェブサイトで公表しています。
<https://www.nyushikakomon.jp/>
- (2) 入試過去問題は、そのまま使用する場合も一部改変して使用する場合もあります。また、必ず使用することはありません。
- (3) 過去問題を使用した場合は、すべての入学試験終了後、出典等を公表します。

Ⅲ 学部別の事項

ここでは学部別の事項を示しています。受験する学部の事項とともに「Ⅱ 各学部に通ずる事項」（15～40ページ）を併せて熟読してください。

1 人文社会科学部	42～44
2 教育学部	45～50
3 理工学部	51～54
4 農学部	55～58

1 人文社会科学部

(1) 募集人員

課 程	前期日程	後期日程
人 間 文 化 課 程	63	22
地 域 政 策 課 程	43	12
計	106	34

(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

課程名	日 程	教科	科 目 名 等	受験を要する教科・科目数
全課程	前期日程	国	国	5教科6科目 又は 6教科6科目
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経から1	
		数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1	
		理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学 *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目 の1科目とみなします。	
		外	英(リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1	
	後期日程	国	国	3教科3科目
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	
		数	数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報	
		理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学 *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目 の1科目とみなします。	
		外	英(リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1	

備考

※「数学」の区分は以下のとおりです。

数学①(数学I, 数学I・数学A)

数学②(数学II, 数学II・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎)

- ・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限りません。

※「理科」の区分は以下のとおりです。

理科①(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)

理科②(物理, 化学, 生物, 地学)

- (注1) 前期日程の選択教科・科目で, 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目及び「数学」から2科目を受験した場合は, 『「地理歴史」, 「公民」』の第1解答科目の成績を必ず利用し, 残りの2科目は『「地理歴史」, 「公民」』の第2解答科目及び「数学①」, 「数学②」の3科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。
- (注2) 前期日程の選択教科・科目で, 「理科」から複数科目を受験した場合は, 「理科①」の2科目又は「理科②」の第1解答科目のどちらか高得点の成績を利用します。
- (注3) 後期日程の選択教科・科目で, 『「地理歴史」, 「公民」』, 「数学」及び「理科」から複数科目を受験した場合は, 『「地理歴史」・「公民」』の第2解答科目及び「理科②」の第2解答科目を除いた高得点の成績を利用します。

(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数

個別学力検査で実施する教科・科目等（小論文を含みます。）及び受験科目等の数は、次の表のとおりです。

なお、表中の◎印は必ず受験しなければならない教科・科目を示します。

出題教科・科目の、「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ」は、「 」内の科目の範囲から出題し、これを1科目として同一試験時間内に解答させます。

日 程	課 程	国 語	外国語	小論文	受験科目等の数
		国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ		
前期日程	全課程	◎	◎		2
後期日程				◎	1

(4) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程 課程	試験 区分	大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点				合計	
		国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	小計	国語	外国語	小論文		小計
					①	②									
前期日程	全課程	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	800	300	300		600	1400
後期日程		200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500			300	300	800

備考

- 表中の（ ）は選択科目であることを表します。
- 大学入学共通テストの配点欄について
外国語のうち「英語」の配点は、リーディング（100点満点）を120点満点に、リスニング（100点満点）を80点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。
また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験（200点満点）の成績をそのまま利用します。
- 受験を要する教科・科目の詳細については、「(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等」及び「(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数」を参照してください。
- 調査書は、総合判定の資料とします。

(5) 課程の志望範囲

課程の志望は第1志望のみとします。

なお、本学部は主副専修プログラム制を実施しており、人間文化課程と地域政策課程のいずれの課程に在籍しても、他課程のプログラムを含め幅広く学ぶことができます。

※ 入学後の専修プログラムの選択について

人文社会科学部の学生は入学後、自ら学びたいと考える主専修プログラムおよび副専修プログラムを2年次末に選択します。

主専修プログラムは、所属課程の専修プログラムから選択し、副専修プログラムは、主専修プログラム以外の所属課程の専修プログラム、他課程の専修プログラム、課程横断型プログラムから選択することになります。

●人間文化課程専修プログラム

行動科学 現代文化 異文化間コミュニティ 歴史 芸術文化
英語圏文化 ヨーロッパ語圏文化 アジア圏文化

●地域政策課程専修プログラム

政策法務 企業法務 地域社会経済 地域社会連携 環境共生

●課程横断型プログラム

グローバル・地域人材育成

(6) 試験の日時

日 程	月 日	教科等	時 間
前期日程	2月25日(日)	外 国 語	9:00~10:30 (90分)
		国 語	11:15~12:45 (90分)
後期日程	3月12日(火)	小 論 文	10:00~12:00 (120分)

2 教 育 学 部

(1) 募集人員

課程・コース等		前期日程	後期日程	
学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース	48	15	
	中学校 教育 コース	国語サブコース	5	
		社会サブコース	5	
		英語サブコース	5	
		音楽サブコース	3	
		美術サブコース	2	
		保健体育サブコース	3	
	理数教育 コース	数学サブコース	12	
		理科サブコース	10	
特別支援教育コース	5	2		
計		98	17	

(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

課程・ コース等名	日程	教科	科目名等	受験を要する 教科・科目数
学校教育 教員養成 課程	前期日程	国 数 地歴 公民	国 (数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫政経から1	5教科7科目 又は 6教科7科目
	後期日程	理 外	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学 * 「基礎を付した科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。 英 (リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1	
中学校 教育 コース	前期日程	国 数 地歴 公民 理 外	国 (数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学 * 「基礎を付した科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。 英 (リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1	5教科7科目 又は 6教科7科目

学校教育 教員養成課程	理数教育 コース	前期日程	国 数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)	5教科7科目
			地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫政経 } 理 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 } から2 物理, 化学, 生物, 地学 } (注1) *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。	
	特別支援 教育 コース	前期日程	国 数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)	5教科7科目 又は 6教科7科目
		後期日程	地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 } 又は2 } から3 理 物理基礎, 化学基礎, } から1 生物基礎, 地学基礎 } 又は2 物理, 化学, 生物, 地学 } (注1) } (注2) *「基礎を付した科目(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。 } (注3) 外 英(リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1	

備考

※「理科①」, 「理科②」の区分は以下のとおりです。

理科①(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎)

理科②(物理, 化学, 生物, 地学)

(注1) 「理科①」については, 2科目の受験で他の教科・科目の1科目とみなします。このため, 「理科」の選択科目数と選択科目の組み合わせは, 以下のア～エのいずれかになります。

ア 選択科目数1: 「理科①」から2科目を選択

イ 選択科目数1: 「理科②」から1科目を選択

ウ 選択科目数2: 「理科①」から2科目かつ「理科②」から1科目を選択

この場合, 「理科①」と「理科②」で同一名称を付した科目を選択しても構いません。

エ 選択科目数2: 「理科②」から2科目を選択

(注2) 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目, 「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目を受験した場合は, 下記ア～ウのうち, いずれか高得点の組み合わせを利用します。

ア 『「地理歴史」, 「公民」』の2科目と「理科①」の2科目

イ 『「地理歴史」, 「公民」』の2科目と「理科②」の1科目

ウ 『「地理歴史」, 「公民」』の第1解答科目と, 「理科①」の2科目及び「理科②」の1科目

(注3) 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目及び「理科②」から2科目を受験した場合は, 下記ア, イのうちどちらか高得点の組み合わせを利用します。

ア 『「地理歴史」, 「公民」』の2科目と「理科②」の第1解答科目

イ 『「地理歴史」, 「公民」』の第1解答科目と「理科②」の2科目

・ 理数教育コースにおいては, 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。

・ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限りません。

(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数

個別学力検査で実施する教科・科目等（実技検査，面接，小論文を含みます。）及び受験科目等の数は，次の表のとおりです。

なお，表中の◎印は必ず受験しなければならない教科・科目を，○印は当該科目のうちから出願時に選択して受験しなければならない科目を示します。（第2志望でも第1志望と同じく必須・選択の科目を受験しなければなりません。）

出題教科・科目の「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ」，「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」，「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」は，それぞれ「 」内の科目の範囲から出題し，これを1科目として同一試験時間内に解答させます。

前期日程

学科・課程等		国語	外国語	数学		理科			実技検査	面接	受験科目等の数	
		国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物				
学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース	○	○	○			○				2	
	中学校 教育 コース	国語サブコース	◎	○	○			○				2
		社会サブコース	○	○	○			○				2
		英語サブコース	○	◎	○			○				2
		音楽サブコース								◎	◎	2
		美術サブコース								◎	◎	2
		保健体育サブコース								◎	◎	2
	理数教育 コース	数学サブコース	○	○	◎			○				2
		理科サブコース	○	○	○			◎				2
特別支援教育コース	○	○	○			○				2		

備考

- 1 小学校教育コースに入学後，英語サブコースへ所属を希望する者は，「外国語」を受験しておくことが望ましい。
- 2 数Ⅲの出題範囲は，「極限」，「微分法」及び「積分法」とします。
- 3 数Aの出題範囲は，全範囲とします。
- 4 数Bの出題範囲は，「数列」と「ベクトル」とします。
- 5 中学校教育コース（国語，英語サブコース）及び理数教育コース（数学，理科サブコース）においては，サブコースごとに個別学力検査の受験科目を以下のとおり指定します。
 - ・ 国語サブコース受験者は，「国語」を含む2科目を受験すること。
 - ・ 英語サブコース受験者は，「外国語」を含む2科目を受験すること。
 - ・ 数学サブコース受験者は，「数学」の「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」を含む2科目を受験すること。
 - ・ 理科サブコース受験者は，「理科」を含む2科目を受験すること。

なお，社会サブコース受験者は「国語」，「数学」，「理科」，「外国語」から2科目を選択して受験してください。

後期日程

課程・コース		小論文	受験科目等の数
学校教育教員養成課程	小学校教育コース	◎	1
	特別支援教育コース	◎	1

(3)－2 実技検査等

実技検査は、教育学部の学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽サブコース、美術サブコース、保健体育サブコースで行い、それぞれのサブコースの履修を続けるために必要な実技の能力について検査します。

なお、保健体育サブコースの場合は、「運動歴調査書」を資料として、サブコースに関わる特技についても検査します。

課程・コース	サブコース	日程	検査内容
学校教育教員養成課程 中学校教育コース	音楽サブコース	前 期 日 程	1 聴音・・・12小節程度の単旋律書き取り 2 コールユーブンゲン第1巻，原書No.1からNo.85のうちから当日1曲指定します。移動ド唱法または固定ド唱法のいずれかで歌ってください。[繰り返しは省略] 3 ピアノ練習曲「チェルニー40番」程度以上のエチュードを1曲，暗譜で演奏してください。曲目は出願時に申告してください。[繰り返しは省略] 4 自由選択課題 声楽，ピアノ，管楽器，弦楽器，打楽器の5つの分野から1つを選択し，それぞれ決められた課題を行います。課題は下記のとおりです。 声 楽・・・出願時に申告した任意の歌曲かアリアを1曲歌唱 ピアノ・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 [繰り返しは省略] 管楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 弦楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 打楽器・・・出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 注1) 自由選択課題で選択した分野はあくまでも受験のための措置であり，入学後の専門領域を決定するものではありません。 注2) 声楽を選択する者で伴奏付きの楽曲を演奏するものは，出願時に，伴奏譜を提出してください。なお，伴奏者は本学が用意します。 注3) 管楽器，弦楽器及び打楽器を選択する者は，出願時に伴奏譜を提出してください。エチュードや無伴奏作品の場合は独奏譜を提出してください。なお，当日の試験の際は伴奏者なしで演奏してください。 注4) 声楽及びピアノを選択した者は暗譜で演奏してください。管楽器，弦楽器及び打楽器を選択した者は暗譜の必要はありません。 注5) ピアノ以外の楽器は，自分一人で持ち運びできるものを持参してください。 注6) 出願後の曲目変更は認めません。 5 面接
	美術サブコース		1 デッサン（石膏像） （1）木炭 （2）鉛筆 ※ 出願時に，（1）又は（2）いずれかを選択してください。 2 面接
	保健体育サブコース		1 基礎運動能力試験・・・下記の5種目の試験を実施します。 （1）助走付き30m走 （2）5－10－15m折り返し走 （3）立ち三段跳び （4）メディシンボール投げ（後方）（男子：3kg，女子：2kg） （5）持久走（20mシャトルラン） 2 特技とする運動種目の成績・活動歴（運動歴調査書によります） 3 面接

※ 実技検査について

実技検査を受験する者は，以下のことに留意してください。

(1) 音楽サブコース

次の時間帯に音楽科の練習室（ピアノあり）で事前練習をすることができます。希望者は以下の練習室使用開始時間5分前までに，教育学部受験案内板にて指示する場所に集合してください。集合時刻に遅刻した者は，練習室を使用できませんので，注意してください。

○令和6年2月26日（月）8時15分～8時35分

(2) 美術サブコース

木炭用具一式又は鉛筆用具一式を持参してください。なお，木炭紙又は画用紙及びカルトンは，大学で用意します。

(3) 保健体育サブコース

実技検査を受けるのに必要な衣服及び体育館用シューズを各自で用意してください。

(4) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 課程・コース等	大学入学共通テストの配点									個別学力検査等の配点						合計		
		国語	地歴	公民	数学		理 科	外国語	小計	国語	外国語	数学	理科	面接	実技検査	小論文		小計	
					①	②													
前期 日程	学校教育 教員養成課程	小学校教育コース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	(200)	(200)			400	1300
		中学校教育コース 国語サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	200	(200)	(200)	(200)			400	1300
		中学校教育コース 社会サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	(200)	(200)			400	1300
		中学校教育コース 英語サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	200	(200)	(200)			400	1300
		中学校教育コース 音楽サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900					40	360	400 (備考3)	1300
		中学校教育コース 美術サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900					100	300	400	1300
		中学校教育コース 保健体育サブコース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900					100	300	400	1300
		理数教育コース 数学サブコース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(200)	(200)	200	(200)			400	1300
		理数教育コース 理科サブコース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(200)	(200)	(200)	200			400	1300
		特別支援教育コース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900	(200)	(200)	(200)	(200)			400	1300
後期 日程	学校教育 教員養成課程	小学校教育コース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900						400	400	1300
		特別支援教育コース	200	(100)	(100)	100	100	(100)	(100)	200	900						400	400	1300

備考

- 1 表中の()は、選択科目であることを表します。
- 2 大学入学共通テストの配点欄について
 - ①「数学①」、「数学②」は以下のとおりです。
 数学①(数学Ⅰ・数学A)
 数学②(数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎)
 - ② 外国語のうち「英語」の配点は、リーディング(100点満点), リスニング(100点満点)の合計得点を利用します。
 なお, リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。
 また, 「英語」以外の科目を受験した者については, 筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。
- 3 中学校教育コース音楽サブコースにおいては, 実技の得点が180点に満たない場合は, 総合得点に関わらず不合格になります。
- 4 受験を要する教科・科目の詳細については, 「(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等」及び「(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数」を参照してください。
- 5 志願者評価書は, 総合判定の資料として評価します。
- 6 調査書は, 総合判定の資料として活用します。

(5) 第2志望について

- 1 コース（又はサブコース。以下同じ。）の志望は、第2志望まで認めます。
- 2 第2志望のコースが課している大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目を受験した者に、その第2志望を認めます。ただし、異種の実技検査を要するコースを第2志望とすることはできません。
（※コースによって受験教科・科目が異なる場合がありますので、第1志望、第2志望いずれも必要な教科・科目を受験しているか十分確認してください。）

※ 入学後のコース・プログラム等の選択について

小学校教育コースの学生は、1年次後期からサブコースに所属し、各カリキュラムを履修することになります。サブコースは、国語、社会、英語、音楽、美術、保健体育、教育学、心理学、情報教育学、特別支援教育の10分野です。（小学校教育コースから数学及び理科サブコースに所属することはできません。）サブコースへの所属は各自の志望を優先しますが、人数の調整をすることがあります。

理数教育コースの学生は、入学者選抜の段階で所属するサブコース（理科あるいは数学）を決定します。また、学校推薦型選抜による入学者は小学校教育専修（小学校教員養成を主とする専修）となりますが、一般選抜による入学者は入学後一定期間を経て、学生の志望により小学校教育専修か中学校教育専修（中学校教員養成を主とする専修）を決定します。

(6) 試験の日時

【前期日程】

月 日	課 程 ・ コ ー ス 等		教 科 等	時 間
2月25日（日）	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 中学校教育コース 理数教育コース 特別支援教育コース		数 学	9：00～10：30（90分）
			国 語	11：15～12：45（90分）
			理 科	14：00～15：30（90分）
			英 語	16：15～17：45（90分）
2月26日（月）	音楽サブコース	実技検査	9：00～17：00	
		面 接		
	美術サブコース	実技検査	9：00～12：00	
		面 接	13：00～	
	保健体育サブコース	実技検査	9：00～17：00	
		面 接		

【後期日程】

月 日	課 程 ・ コ ー ス	教 科 等	時 間
3月12日（火）	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 特別支援教育コース	小 論 文	10：00～12：00（120分）

3 理 工 学 部

(1) 募集人員

学科・コース		前期日程	後期日程
化学・生命理工学科	化 学 コ ー ス	38	12
	生 命 コ ー ス	17	5
物理・材料理工学科	数 理 ・ 物 理 コ ー ス	22	4
	マ テ リ ア ル コ ー ス	29	9
システム創成工学科	電 気 電 子 通 信 コ ー ス	38	12
	知 能 ・ メ デ ィ ア 情 報 コ ー ス	35	12
	機 械 科 学 コ ー ス	50	15
	社 会 基 盤 ・ 環 境 コ ー ス	35	5
計		264	74

(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

学科等名	日 程	教科	科 目 名 等	受験を要する 教科・科目数
全学科	前期日程	国	国	5教科7科目
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	
	後期日程	数	(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)	
		理	物理, 化学, 生物から2	
外	英(リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から1			

備考

- ・ 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。
- ・ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。

(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数

個別学力検査で実施する教科・科目等及び受験科目等の数は、次の表のとおりです。

なお、表中の◎印は必ず受験しなければならない教科・科目を、○印は当該科目のうちから出願時に選択して受験しなければならない科目を示します。

出題教科・科目の「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」は、それぞれ「 」内の科目の範囲から出題し、これを1科目として同一試験時間内に解答させます。

日程	学科・コース		数学	理科			主体性・協働性に関する自己評価	受験科目等の数
			数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物		
前期日程	化学・生命理工学科	化学コース	◎	○	○		◎	3
		生命コース	◎	○	○	○	◎	3
	物理・材料理工学科	数理・物理コース	◎	○	○		◎	3
		マテリアルコース	◎	○	○		◎	3
後期日程	システム創成工学科	電気電子通信コース	◎	○	○		◎	3
		知能・メディア情報コース	◎	○	○		◎	3
		機械科学コース	◎	○	○		◎	3
		社会基盤・環境コース	◎	○	○		◎	3

備考

- 1 数Aの出題範囲は、全範囲とします。
- 2 数Bの出題範囲は、「数列」と「ベクトル」とします。
- 3 「主体性・協働性に関する自己評価」では、大学入学以前の学習や課外活動、ボランティア活動などを通じて、主体性や協働性がどのように培われてきたか、またそれを活かしてどのような大学生活を送りたいかなどの意志を示す文章を記載してもらいます。

(4) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース		大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点						合計		
			国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	小計	数学			理科			主体性・協働性に関する自己評価	小計
						①	②					数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物				
前期日程	化学・生命理工学科	化学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	150	(450)	(450)		30	630	1530	
		生命コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	300	(300)	(300)	(300)	30	630	1530	
	物理・材料理工学科	数理・物理コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	300	(300)	(300)		30	630	1530	
		マテリアルコース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	300	(300)	(300)		30	630	1530	
	システム創成工学科	電気電子通信コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	250	(250)	(250)		30	530	1430	
		知能・メディア情報コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	400	(400)	(400)		30	830	1730	
		機械科学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	300	(300)	(300)		30	630	1530	
	社会基盤・環境コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	300	(300)	(300)		30	630	1530		
後期日程	化学・生命理工学科	化学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	100	(300)	(300)		30	430	1330	
		生命コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)	30	430	1330	
	物理・材料理工学科	数理・物理コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330	
		マテリアルコース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330	
	システム創成工学科	電気電子通信コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330	
		知能・メディア情報コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330	
		機械科学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330	
	社会基盤・環境コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)		30	430	1330		

備考

- 表中の()は、選択科目であることを表します。
- 大学入学共通テストの配点欄について
 - 『「地理歴史」,「公民」』から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。
 - 「数学①」,「数学②」の区分は以下のとおりです。
 数学①(数学Ⅰ・数学A)
 数学②(数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎)
 - 外国語のうち「英語」は、リーディング(100点満点)を160点満点に、リスニング(100点満点)を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
 なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。
 また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。
- 受験を要する教科・科目の詳細については、「(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等」及び「(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数」を参照してください。
- 調査書は、総合判定の資料とします。

(5) 学科・コースの志望範囲等

学科・コースの志望範囲	
1	学部内のすべてのコースから第1志望コースと第2志望コースを選択することが出来ます。 なお、選考に当たっては、第1志望を重視します。
2	第2志望コースが課している大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目を受験した者に、その第2志望を認めます。
3	第2志望コースの選考に当たっては、当該コースの配点に基づいて得点を算出し選考します。

※ 入学後のコース・プログラム等の選択について

- 先端理工学特別プログラム及び地域創生特別プログラムでは、入学後、履修生を追加募集することがあります。詳細については、<https://www.se.iwate-u.ac.jp/> をご確認ください。
- 理工学部では、1年次終了時に勉学状況や面接による進路希望や意思の確認を行い、転学科、転コース、転プログラムを許可することがあります。

(6) 試験の日時

日程	月 日	教科等	時 間
前期日程	2月25日(日)	数 学	9:30~11:30(120分)
		主体性・協働性に関する自己評価	13:00~13:30(30分)
		理 科	14:30~16:30(120分)
後期日程	3月12日(火)	数 学	9:30~10:30(60分)
		理 科	11:15~12:15(60分)
		主体性・協働性に関する自己評価	12:40~13:10(30分)

4 農 学 部

(1) 募集人員

学 科 等		前期日程	後期日程
植 物 生 命 科 学 科		26	4
応 用 生 物 化 学 科		32	3
森 林 科 学 科		16	3
食 料 生 産 環 境 学 科	農村地域デザイン学コース	26	4
	食産業システム学コース		
	水産システム学コース	10	3
動 物 科 学 科		20	3
共 同 獣 医 学 科		20	
計		150	20

(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

学科等名	日 程	教科	科 目 名 等	受験を要する 教科・科目数
植物生命科学科 応用生物化学科 森 林 科 学 科 食料生産環境学科 (農村地域デザイン 学コース,食産業 システム学コース) 食料生産環境学科 (水産システム学 コース) 動 物 科 学 科	前期日程 後期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫政経 (数 I, 数 I・数 A から 1) と (数 II, 数 II・数 B, 簿, 情報から 1) 物理, 化学, 生物, 地学 から 2 英 (リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から 1	5教科7科目
共 同 獣 医 学 科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫政経 数 I・数 A と (数 II・数 B, 簿, 情報から 1) 物理, 化学, 生物から 2 英 (リスニングテストを含む), 独, 仏, 中, 韓から 1	5教科7科目

備考

- ・ 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を利用します。
- ・ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。

(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数

個別学力検査で実施する教科・科目等及び受験科目等の数は、次の表のとおりです。

なお、表中の◎印は必ず受験しなければならない教科・科目を、○印は当該科目のうちから出願時に選択して受験しなければならない科目を示します。

出題教科・科目の「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」は、それぞれ「 」内の科目の範囲から出題し、これを1科目として同一試験時間内に解答させます。

日程	学科・コース	数学	理科			面接	大学入学希望理由書	受験科目等の数	
		数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物				
前期日程	植物生命科学科							2	
	応用生物化学科							2	
	森林科学科							2	
	食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	○	○	○	○		◎	2
		食産業システム学コース							2
		水産システム学コース							2
	動物科学科							2	
共同獣医学科	◎	○	○	○		◎	3		
後期日程	植物生命科学科							1	
	応用生物化学科								
	森林科学科								
	食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース					◎		
		食産業システム学コース							
水産システム学コース									
動物科学科									

備考

- 1 数Aの出題範囲は、全範囲とします。
- 2 数Bの出題範囲は、「数列」と「ベクトル」とします。

(4) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース	大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点						合計			
		国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小計	数学		理科		面接	大学入学 希望理由書		小計		
					①	②				数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B	物理基礎・ 物理	化学基礎・ 化学	生物基礎・ 生物						
前期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220	
	食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220
		食産業システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1220	
	共同獣医学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)		20	420	1320	
後期日程	植物生命科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000	
	応用生物化学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000	
	森林科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000	
	食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000
		食産業システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000
	動物科学科	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1000	

備考

- 表中の () は、選択科目であることを表します。
- 大学入学共通テストの配点欄について
 - 『「地理歴史」, 「公民」』から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。
 - 「数学①」, 「数学②」の区分は以下のとおりです。
 数学① (数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A)
 数学② (数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎)
 - 大学入学共通テストの「英語」は、リーディング(100点満点)を160点満点に、リスニング(100点満点)を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。
 なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。
 また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験(200点満点)の成績をそのまま利用します。
- 受験を要する教科・科目の詳細については、「(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等」及び「(3) 個別学力検査実施教科・科目等及び受験科目等の数」を参照してください。
- 調査書は、総合判定の資料とします。

(5) 学科等の志望範囲等

学 科 等 の 志 望 範 囲 等
共同獣医学科を除く各学科等の間での第2志望を認めますが、選考に当たっては、第1志望を重視します。 (共同獣医学科を第2志望とすることはできません。また、共同獣医学科を第1志望とした場合、他の学科等を第2志望とすることはできません。)

※ 入学後のコース等の選択について

食料生産環境学科（水産システム学コースを除く）の学生は、2年次前期から、農村地域デザイン学コースと食産業システム学コースに分かれ、各コースのカリキュラムを履修することになります。

コースの選択は、原則として各自の志望により決定しますが、教育的配慮から人数の調整をすることがあります。

(6) 試験の日時

日 程	月 日	教 科 等	時 間
前期日程	2月25日（日）	数 学	9：30～11：30（120分）
		大学入学 希望理由書	13：00～13：30（30分）
		理 科	14：30～16：30（120分）
後期日程	3月12日（火）	面 接	9：30～

Ⅳ 学生寮入寮案内

【重要】学生寮への入寮を希望する方へ

学生寮への入寮申請は、選考結果を合格発表後速やかに発表するため、受験前に行っていただくこととしています。

入寮申請書類の提出期限は **令和6年2月14日(水)【必着】** です。申請期間内に届かない場合、理由にかかわらず一切受理することができませんので、ご注意ください。

1 概 要

岩手大学には、下表のとおり上田地区（キャンパス内）及び高松地区に合わせて4つの学生寮があります。すべての学生寮は、管理寮であり修学を経済的・教育的に支援することを目的として設置されています。アパート等の一人暮らしとは異なり、集団生活を通じて自主性・社会性や国際感覚を培う場ともなっています。

地 区	上 田 地 区		高 松 地 区	
	男子寮 自啓（じけい）寮	男子寮 同袍（どうほう）寮	男子寮 北謳（ほくおう）寮	女子寮 紅梅（こうばい）寮
入寮定員数	91（うち身障者用1）	131（うち身障者用1）	89（うち身障者用1）	154（うち身障者用1）
所在地	盛岡市上田三丁目18-15 （キャンパス内）		盛岡市高松四丁目17-18 （大学まで約2km）	
建物構造	鉄筋コンクリート造 4階建		鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造 4階建
建築年	平成23年 改築		平成16年 改築	
居室面積	約28㎡	約14㎡	約14㎡	
入寮期間	修業年限	2年	2年	
寮タイプ	2人部屋，自炊	個室，自炊	個室，自炊	
室内設備	ベッド，机，ミニキッチン（IHヒーター）， トイレ，冷蔵庫，ロッカー，吊り戸棚， 冷暖房エアコン，インターネット		ベッド，机，ミニキッチン（IHヒーター）， トイレ，冷蔵庫，洗面台，ロッカー， 吊り戸棚，冷暖房エアコン，インターネット	
共用施設	浴室，シャワー室，ランドリー室，ラウンジ， 談話室		浴室，シャワー室，ランドリー室，談話室， 集会室	

※ 4寮とも、食堂はありません。

※ 居室面積には室内設備分が含まれているので、実際の居室は狭く感じる場合があります。

※ 原則、入居許可期間内の中途退寮は認めません。

2 諸経費

寄宿料・・・月額26,000円（共益費含む）

毎月の光熱水料・・・5,000～8,000円

上記に加え、寮行事などの運営費等がかかる場合もあります。

3 申請書類の入手

入寮希望者は、岩手大学ウェブサイト（「岩手大学TOPページ」→「MENU」→「キャンパスライフ」→「学生生活ガイド」→「学生寮」）から申請書類をダウンロードしてください。申請書類は令和6年1月上旬に掲載予定です。

<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/guide/dormitory.html>



※申請書類は早目に入手してください。受付期間内に申請書類が提出されない場合、理由にかかわらず一切受理することができません。

4 申請日程等

入寮申請は受験前に行う必要があります。

申請書類受付期間 令和6年1月15日（月）～令和6年2月14日（水）【必着】

選考結果発表日時 前期日程 令和6年3月7日（木）15時（予定）

後期日程 令和6年3月22日（金）19時（予定）

※詳細は、上記3により入手した「入居申請手続きのしおり」等で確認してください。

入寮申請の流れ（一般選抜（前期日程・後期日程）受験者）

1. 入寮申請書類入手（令和6年1月上旬から）

ウェブサイトからダウンロード

2. 申請書類の提出（令和6年2月14日（水）【必着】）

3. 入寮審査

4. 選考結果の発表（前期日程：令和6年3月7日（木）15時（予定）、
後期日程：令和6年3月22日（金）19時（予定））

5. 入寮手続き

岩手大学への各種問い合わせについては下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで

※ただし、祝日、全学休業日（12/28～1/3）は
除きます。

★入学試験に関すること

入学試験等に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課 ☎ 019-621-6064

★奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6062

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6506
☎ 019-621-6882

★学生寮に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎ 019-621-6060
☎ 019-621-6749

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課 ☎ 019-621-6031

岩手大学ウェブサイトアドレス <https://www.iwate-u.ac.jp/>



<不測の事態（自然災害等）が発生した場合の情報提供について>

不測の事態（自然災害等）が発生した場合、岩手大学入学試験の実施に関する
情報提供は次のウェブサイト等により行いますので、受験の前に確認してください。

岩手大学入試情報

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>

【「岩手大学トップページ」→「入試情報」】

